

第7章 快 適 環 境

第1節 身近な緑

1 都市公園の機能

人々の生活環境と密接な関わりを持つ、身近な緑の代表として都市公園があげられる。都市の中に緑とオープンスペースを確保する都市公園は、都市で生活する人々の憩いの場、レクリエーションの場であり、都市景観を潤いのあるものにする。また、騒音などの公害の緩和に役立ち、災害時の避難地ともなるなど、都市の生活環境として欠かすことのできないものである。

2 本県における都市公園の現況

本県の都市公園の平成13年度末の状況をみると、全体では1,751箇所、総面積1,471.10haであり、県民1人当たりの面積は10.49㎡/人で、全国平均を上回っている。また、都市公園整備の長期目標である1人当たり公園面積20㎡を目指し、必要なものについて都市計画決定をおこなって、都市計画公園として整備している。現在、30市町村で282箇所、1,501.2haの都市計画公園・緑地等が計画され、そのうち263箇所、1,089.9haがすでに整備され、利用されている。

図1 都市公園整備の推移

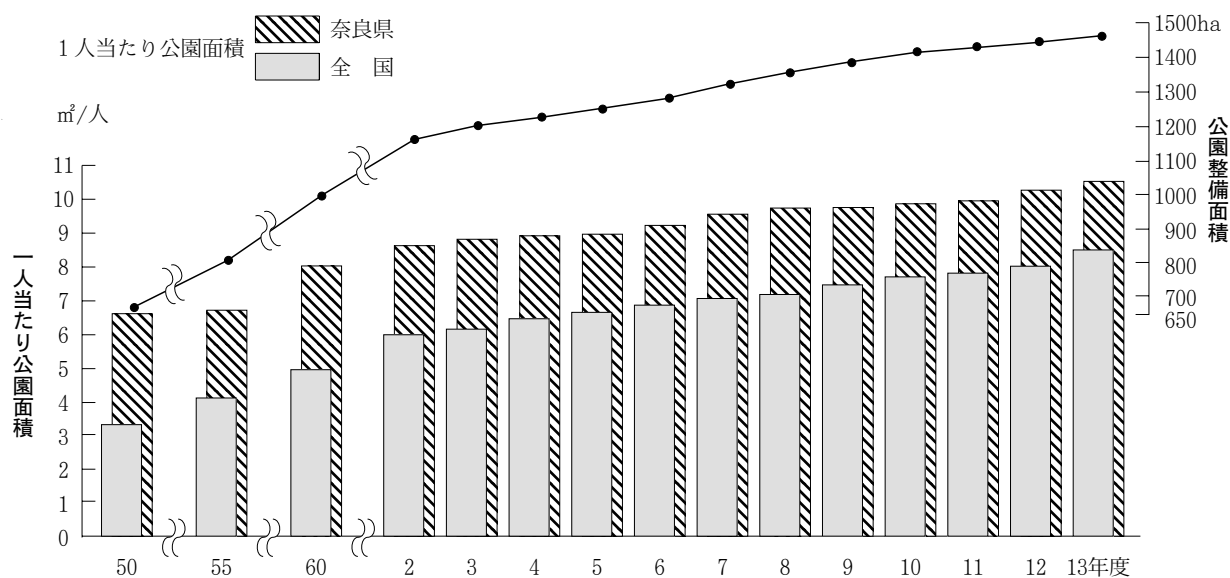


表 1 都市計画公園等の現況

(平成 14 年 3 月 31 日現在) (単位 : ha)

種 別		計 画		供 用	
		箇 所 数	面 積	箇 所 数	面 積
都 市 計 画 公 園	街 区 公 園	161	43.0	152	39.0
	近 隣 公 園	51	98.9	46	87.6
	地 区 公 園	21	115.5	19	95.3
	総 合 公 園	13	235.2	12	142.4
	運 動 公 園	5	77.5	5	69.6
	風 致 公 園	4	29.5	4	29.3
	歴 史 公 園	3	78.5	3	47.4
	広 域 公 園	2	710.3	2	534.1
都 市 計 画 緑 地		21	104.3	19	36.7
都 市 計 画 墓 園		1	8.5	1	8.5
計		282	1,501.2	263	1,089.9

3 代表的な都市公園整備事業

(1) 馬見丘陵公園

馬見丘陵は、大和平野のほぼ中央に位置し、我国有数の古墳群と良好な自然環境を活用した「古墳と花と野鳥のとびかう公園」として、広く県民の方々に利用してもらうことを目標に整備している。

全体計画として、南、中央、北、緑道の 4 つのエリアに分け、芝生広場や複合遊具等を配し、「見て・楽しんで・学ぶ」という、新しい都市公園のかたちをめざし、整備を進めている。

平成 13 年度は、南エリアの園路広場及び緑道の整備を行った。

(2) 大淵池公園

奈良市西部の市街地の中であって、大淵池を中心に周辺の自然の樹林地を含めた豊かな緑と水の公園である。東地区では、テニスコート、芝生広場、体育館等を、西地区では、少年運動広場、児童広場、ファミリー広場、駐車場等を設置している。

(3) 県営福祉パーク

平成 7 年度から 10 年度までの 4 ケ年計画で高齢者や障害者の方々が快適な生活を送れるような住宅、道路、公園等の総合的な福祉モデル施設として整備を行い、平成 10 年 10 月 21 日に開園した。

中核となる福祉住宅体験館には、標準的な住宅改善のモデルの展示、介護実習のできる場、福祉機器の展示の場、屋内でできる軽スポーツの場等を設置している。屋外施設として、福祉社会に対応できる公共施設のモデルや多目的運動広場、芝生広場、休憩施設を備えたふれあい広場等を設置している。

(4) 奈良公園

明治 13 年の開設以来、歴史的景観と自然景観とが渾然一体となって調和する広域公園として整

備改良を行っている。

平成 7 年度からは、公園内公衆トイレの再整備を図るゆったりトイレ整備事業を開始し、荒池園地トイレ、登大路駐車場トイレ、水谷橋トイレに続き、平成 10 年度には大仏前駐車場トイレの改築を終えた。

園地整備については、平成 9 年度春、若草山園地において、駐車場、歩道等の整備を行ったところである。

第 2 節 身近な水辺

河川、ため池、水路などの身近な水辺は、人々の生活に潤いと安らぎを与える役割を持っている。本県では、これまでも都市部における親水空間の形成に努めてきたが、こういった水辺の役割を再認識し、さらに、河川の水質改善の向上、水とのふれあいの場の創出、公園や緑道における水辺の創出に向けた整備事業を行っている。

1 河川地域の親水空間の創出

(1) 奈良県の河川環境整備に関わる計画体系

本県では、河川環境整備に関して、『悠久のロマンあふれる水辺創生事業』として、水辺に「うるおい」と「やすらぎ」を与え、まちの景観形成や、余暇の有効利用に対応するため、空間環境、生物環境、水環境（水質、水量）の面から整備を進めている。

奈良県の河川環境整備に関する計画体系は図 2 のように整理される。

図 2 河川環境整備に関わる計画体系



(2) 水辺空間環境整備について

大和川、紀の川（吉野川）、熊野川（十津川）、宇陀川など奈良の河川環境は、人々の生活環境をより良好なものにするため欠かせない貴重な空間資源となっている。